【泉区】令和８年第３回区づくり推進横浜市会議員会議　議事録（メモ）

開催日時	令和８年９月３日　午後２時 00 分　～　午後３時 00 分
場　　所	泉区総合庁舎４階４ＡＢＣ会議室
出 席 者	【　座　長　】　横山　勇太朗　議員、 【議員：２人】　梶村　充　議員、麓　理恵　議員 【泉区：28 人】　藤岡 区長 金子 副区長 榎本 福祉保健センター長 飛鳥田 福祉保健センター医務担当部長 坂井　泉土木事務所長 志熊 泉消防署長 ほか関係職員
議　　題	１　令和７年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績 ２　令和８年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況 ３　令和９年度泉区予算編成の考え方について

発 言 の 要　　旨	**１　令和７年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について** 特になし **２　令和８年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について** 麓議員：資料２ページの「魅力体感プロモーション～ゆめが丘発～」について、令和７年度と比較して予算が減ったが、その要因は何か。また、ゆめが丘ソラトスを会場にしてイベントを開く効果について聞きたい。 雙田区政推進課長：事業内容は令和７年度から拡充しているが、相鉄グループなど様々な団体と協働することにより予算を抑えられている。ソラトス内のアミューズメント施設「アソブル」が積極的に会場を貸してくれるため、費用をかけずにいっずんの登場する親子向けイベントを実施できている。また、令和７年度に当該事業で行っていたデジタルスタンプラリーを令和８年度は区制 40 周年記念事業で実施することも、予算が減少した要因である。 ソラトスでイベントを開くことの効果だが、区政推進課の事業にと

	どまらず、区の様々な事業に関するイベントをソラトスで実施している。ソラトスは集客力があり、区外・市外からの来訪者に対して泉区の事業をＰＲできていると考えている。 麓議員：資料８ページの「横浜市みんなのおでかけ交通事業」について、泉区では中田北地区が交通空白地であると考える。また、葛野小学校周辺は、地域住民から交通の便が悪く交通網を整備してほしいと求められている。 　市がプッシュ型で整備を進める中田北地区に関する協議状況と、プッシュ型支援の対象になっていない葛野小学校周辺について泉区として実施できる取組を教えてほしい。 雙田区政推進課長：中田北地区については、道路・交通政策局、泉区役所、地域住民による具体的な検討を始めているところである。９月に地域住民にアンケートを取り、ニーズ調査を行う。調査結果に基づき実証運行に向けた調整を行う予定であり、調査結果次第だが、令和 10 年１月頃に実証運行を開始できるよう地域住民と調整を進めている。 　葛野小学校付近についてだが、「横浜市みんなのおでかけ交通事業」で定める公共交通圏域（鉄道駅から 800m またはバス停から 300m）外が含まれている地域であると考えられるため、関係局と連携しながら地域要望を聞いて検討を進めていきたい。 麓議員：どのあたりまでの地域住民を集めて話を聞いているのか。 雙田区政推進課長：区役所からは、単会の町内会長や連合の町内会長に声をかけている。また、町内会の推薦を受けた方も含む。このような方たちを集め、勉強会を開いている例もある。 麓議員：このような事業を実施する場合、アンケートや調査を行ってきたと思う。かつて地域住民の要望があり新橋地区でアッテ号が実証運行されたが、利用者が少なく本格運行に至らなかった。行政は様々な事例を蓄積させているため、アッテ号の二の舞にならないよう、道路・交通政策局とは別に泉区役所独自で地域特性に沿った提言をしていってほしい。 　次の質問だが、旧緑園西小学校の跡地利用についての進捗状況を伺いたい。 雙田区政推進課長：令和４年度に地域住民にアンケートし、令和５年度にサウンディング調査を実施した。令和８年３月には、財産評価審議会で評価額の答申を受けた。現在は、令和８年度中の公募開始に向けて行財

	政局が調整を進めており、令和９年度に跡地活用事業者を決定することを目標としている。 麓議員：活用についての具体的な内容はまだ公表されていないということか。 雙田区政推進課長：はい。公募の募集要項を選考委員会に諮る準備をしていると聞いている。 麓議員：地域住民の意見が尊重されるべきだと考えるが、坂の上という立地を考慮すると、福祉施設や人の集まれる施設を作ったとしても人が集まれない可能性がある。個人的な意見としては、周辺が静かな住宅地であることを踏まえ、住宅地としての利用でもよいと考える。地域住民の声を傾聴したうえで、将来を見通した利用を考えてほしい。 　続いての質問だが、最近、大雨による大きな被害が続いている。区役所地下の浸水対策の進捗状況はどうか。 野村総務課長：建築局、市民局等と調整しているが、予算の都合から特段の進捗がない。 麓議員：近くに遊水池があり貯水できるが、もし浸水してしまったら機能不全に陥ってしまうので、私もしっかりと対策を要望したい。状況は承知した。 野村総務課長：止水板の準備など泉区役所で対応できる部分は引き続き強化している。局への要望についてはご支援いただけたら幸いだ。 梶村議員：先日の千葉の豪雨では、車両がアンダーパス内で立ち往生してしまったようだ。岡津町に小さなアンダーパスがあることは存じているが、泉区内に他にアンダーパスはあるか。 坂井泉土木事務所長：アンダーパスは２か所存在する。岡津町の中田さちが丘線ガード下と、和泉町の新幹線ガード下だ。道路・交通政策局で市内アンダーパスの一覧を作成しており、泉区のアンダーパスの最大浸水深は30～50㎝との情報をもらっている。土木事務所では、大雨警報発令時に必ず巡回して現地確認したり、冠水のような状況があればすぐに通行止めして警察と連携して対応したりする意向を所内で確認している。 梶村議員：先日、しらゆり公園で落雷に遭遇した。地域イベントにおいて、落雷によるイベント中止の判断が難しい。雷の発生状況を調べて通知するなどの対策をお願いしたい。 野村総務課長：雷は事前予測が難しく、警報が出てから発生まで時間が短

	い。イベント実施時に雷雨が予想される場合には、雷が発生したら建物内に避難するなどの算段が必要と考える。雷対策についてまとめ、地域に情報を伝えていきたい。 塩谷地域振興課長：総務課で対策をまとめたパンフレット等を作成したら、地域振興課でも区連会を通じて情報提供していきたい。 梶村議員：この度、生活道路における自動車の法定速度が時速 30 キロとなった。スクールゾーン関係者や警察と連携しながら区民に周知してほしい。 塩谷地域振興課長：スクールゾーン対策協議会や泉区交通安全対策協議会を通じて、地域住民に対し、県からのチラシ等を活用しつつ周知していきたい。 横山議員：千葉で発生した豪雨では、アンダーパス内で水没した車両に人が閉じ込められ死亡したと報道されていたが、横浜市でこのようなことは起こってほしくない。全庁的な話にはなるが、泉区でも対策に取り組んでほしい。必要であれば予算を用意できるよう協力するのでお願いしたい。 **３　令和９年度泉区予算編成の考え方** 梶村議員：都市計画マスタープランの区別計画策定にあたり、「ダブルコア」の構想について、泉区ではどのように考えているのか。 　また、予算編成とは関係ないが、急遽市長選挙の実施が決まった。選挙で利用予定の施設の中ですでに地域で利用予定のあった施設についてはどのように調整するのか。 雙田区政推進課長：区別計画では、区の資産や特徴を生かし、魅力の向上や身近な課題解決につながる、区民や企業が連携して取り組むまちづくりの方針などを示していきたいと考える。農や水・緑といった泉区の魅力を生かした郊外部のまちづくりを、地域住民、事業者、農家の声を聞きつつ区別計画に盛り込んでいきたい。 野村総務課長：選挙についてだが、泉区選挙管理委員会でも各地域との調整をはじめたところだ。施設利用だけでなく選挙立会人や選挙管理者の選出でも協力いただくため、丁寧に進めていく。 梶村議員：農の話があったが、農地が荒れ放題になっているケースが多くある。転用できない農用地があるが、そのような土地は農地以外の利用ができないということを踏まえ、地域住民や地主の納得を得ながら計画を練ってほしい。